



常総学院一科学技術 延長10回、サヨナラ勝ちを取めて喜ぶ科学技術の選手たち（日立市民球場で）＝嶋村英里撮影

夏 高校野球

県大会

科学技術常総破る

夏の高校野球県大会は14日、2回戦13試合が5球場で行われ、夏の甲子園出場16回を誇る常総学院が、延長十回サヨナラ負けを喫した。夏の県大会での初戦敗退は創部以来初となる。一方、石岡一は長短28安打を放って3回戦に駒を進め、シード校の鹿島学園と土浦日大もコールド勝ちを収めた。15日は2回戦の残り8試合が4球場で行われ、霞ヶ浦や水城、下妻などが登場する。

10回 網野がサヨナラ打

日立市民球場

両チームともに12安打を放つ互角の戦いで、好機を逃さなかった科学技術に軍配が上がった。

科学技術は1点を追う二回、一番・前田孝亮選手(3年)の走者一掃の3点適時二塁打で逆転に成功。再びリードされた八回に、走者なしの二死から3連打で同点に追いつくと、延長十回一死一、二塁で途中出場の網野隼斗選手(3年)が左翼に適時二塁打を放って試合を決めた。

サヨナラ打の網野選手は「自分が打って勝ててうれしい」と満面の笑みで語り、飯塚賢一監督は「選手全員が自分の持っている力を出

し切ってくれた」と目を細めた。

◇…日立市民球場…◇

多	000	00	0
日立	442	0X	10

(5回コールド)

(多) 本保、有馬一田所
(日) 広田、手塚、小野一石原
▽二塁打 大貫2、鈴木翔2、堀米(日)

常総学院	0101003000	5
科学技術	0300000201X	6

(延長10回)

(常) 石川、伊藤、坂本一五十嵐
(科) 與板、飯泉、税所一阿部
▽三塁打 石井(常)▽二塁打 坂入、太田和、鹿田(常)前田、税所、網野(科)